

カメレオン 〈環境保全型張ブロック〉

NETIS掲載終了
QS-980106 宮崎県
新技術

●特長

カメレオンは、水辺をより災害に強く、美しい自然に修復する多自然護岸です。ヒンジ結合したコンクリート網、吸出防止材、中詰土の3つを複合させることにより、水辺の土壌を保持し、自然の生態系を維持・復元します。

1. 流れに強いヒンジ結合

独自のオーバーラップヒンジ構造によるスクラム効果は、強い噛み合わせで耐久性に優れた護岸になります。

2. 大地の曲面にフィットするしなやかさ

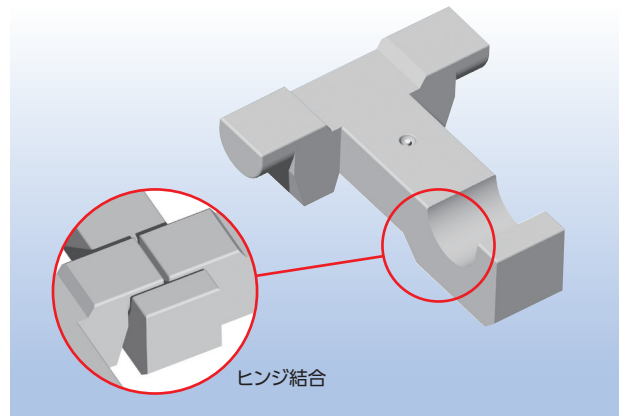
ブロックのヒンジ結合面が円形になっているため、連結した資材は大地の局面にしなやかになじみます。地盤変形に対しても柔軟性があります。

3. 施工をスムーズにするブロックの構造

連結金具が不要。ブロックのヒンジ部をオーバーラップしながら据付する簡単な構造です、吊り金具の脱着も容易で施工性に優れています。

4. ブロック間空隙を生かした緑の再生

ブロックの空隙に現場発生土を詰めることにより、従来の植生が繁茂し、植物遷移を阻害せず自然本来の姿である水辺空間が再生されます。



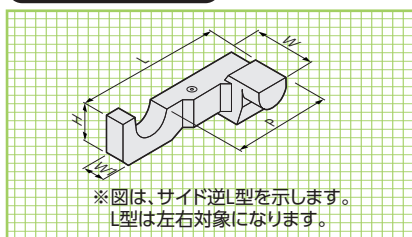
基本形状図

形状・寸法
重量

標準型

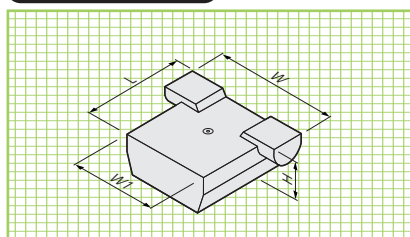
規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
形状 (cm)				
空隙率	47%	56%	63%	56%
体積	0.211m ³	0.122m ³	0.073m ³	0.089m ³
1個当り重量	485kg	280kg	168kg	200kg
1m ² 当り重量	600kg	350kg	200kg	250kg

サイドL型・逆L型



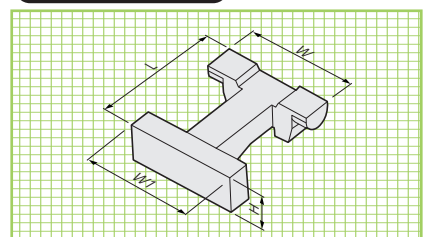
規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
L (cm)	128	115	110	110
H (cm)	50	35	25	25
W (cm)	50	50	50	45
W1 (cm)	15	15	15	20
P (cm)	76	76	76	76
体積(m ³)	0.123	0.068	0.046	0.050
重量(kg)	283	156	106	115

エンド



規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
L (cm)	70	75	75	75
H (cm)	50	35	25	25
W (cm)	100	100	100	90
W1 (cm)	71	70	70	60
体積(m ³)	0.232	0.166	0.121	0.111
重量(kg)	533	382	278	255

L型



規格	T-35	T-25
L (cm)	65~140	65~140
H (cm)	35	25
W (cm)	90~115	90~120
W1 (cm)	90~100	90~120
体積(m ³)	0.153~0.221	0.112~0.169
重量(kg)	350~500	250~380

※表の体積・重量はW・W1が100cmの場合

ドライ施工

仮締切工により
水替を行う護岸工法

複雑な地形になじみ、水辺の自然を保護。
施工もスムーズです。

「カメレオン」は従来型のコンクリートで水辺を密封してしまう護岸とはちがひ。コンクリート網で大地をしなやかにつつみながら、生態系も守れる護岸工法です。仮締切工により水替工を行うドライ施工でも、機能的な形状により、これまでの護岸工事よりも施工がスムーズになりました。

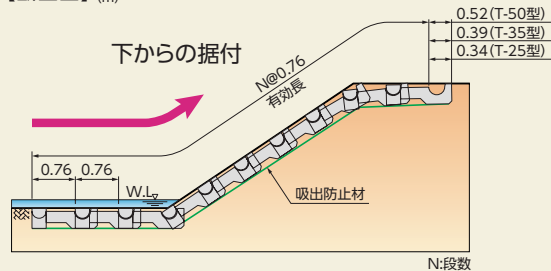


ブロックを単体で施工します。

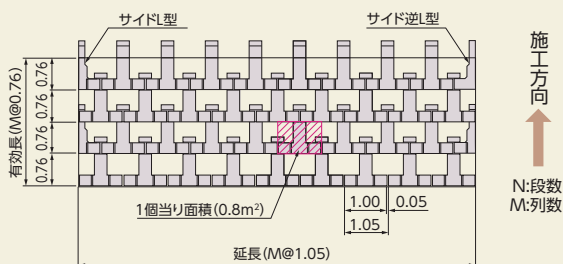
据付方式

仮締切工により水替を行い、法尻側から法肩に向かって下からの据付になります。

【断面図】(m)



【平面図】(m)



施工方向
↑

N:段数
M:列数

水中施工

仮締切の不要な
水中施工を実現

ダイレクトな水中施工が
全体工事費の削減を可能にしました。

従来は、ドライ施工が一般的でしたが河川によっては仮締切等で費用がかかるケースもあります。カメレオンの開発は、仮締切や水替のいらぬ「水中施工」による新しい護岸工法を可能にしました。

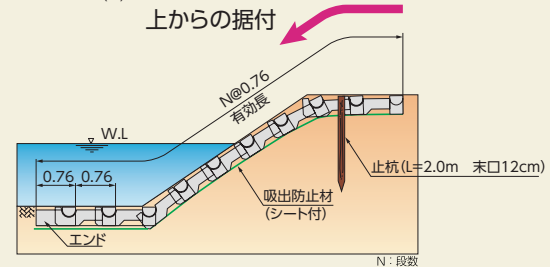


シート付ブロック6個を群体施工します。

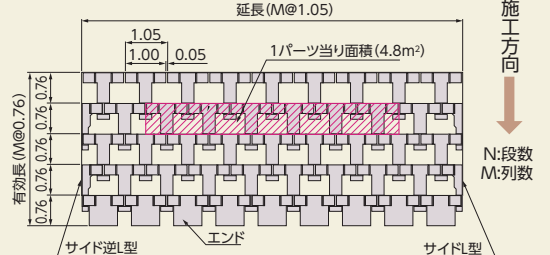
据付方式

法尻側から法肩に向かって上からの据付になります。法肩ブロックの止杭は、施工時の安全性と据付精度を高めるための物で、護岸構造計算とは無関係です。法尻端部には重量のあるエンドを使用し、安定性を確保します。

【断面図】(m)



【平面図】(m)



施工方向
↓

N:段数
M:列数